

指定管理施設事業評価票(令和5年度分)

1. 施設所管課

観光経済 部 藤原観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市営浴場「川治温泉薬師の湯」・川治温泉薬師の湯キャンプ場		
	所在地	日光市川治温泉川治277番地		
指定管理者	名称	一般社団法人 川治薬師の湯管理協会		
	代表者名	代表理事 関本 昭		
	住所	日光市川治温泉川治22番地		
指定期間	令和4年4月1日	~	令和7年3月31日	3 年間
選定方法	非公募	評価実施年	3 年間のうち	2 年目
施設設置目的	市民の保養と健康増進を図り、かつ、観光事業の振興を図ることを目的とする。			
主な実施事業	温泉入浴施設事業及びキャンプ場運営			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度			
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用者数	人	25,000	21,884	23,760	20,728				
b 清掃を行う		毎日	毎日	毎日	毎日				
c 電気料の削減		10%削減	10%削減	10%削減	10%削減				
d									
e									

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
収入計 A	22,042,577	19,499,687	0	0	0
指定管理料	0	0			
利用料収入 C	8,298,750	7,837,250			
自主事業収入	409,556	345,065			
その他	13,334,271	11,317,372			
支出計 B	20,969,905	19,624,840	0	0	0
指定事業費	20,896,175	19,538,510			
内人件費 D	5,483,322	5,637,885			
内外部委託費 E	1,897,000	1,897,000			
自主事業費	73,730	86,330			
事業収支 A-B	1,072,672	-125,153	0	0	0
人件費率 D/B	26.15%	28.73%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	9.05%	9.67%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

「バスタオル」のレンタルを継続し、利用客の便宜を図り収入増につなげた。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準		指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B	
	外部委託	事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。 外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B	
	法令遵守等	外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B	
	個人情報保護	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B	
	情報公開	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B	
	管理記録	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B	
	連絡調整	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B	
	緊急対応	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。 協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
	緊急対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	A	
	総括	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B	B	
「業務の実施体制」に関する評価【17項目】					
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B	
	利用者対応	事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B	
	事業運営	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B	
	事業運営	利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B	
	維持管理	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B	
	維持管理	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B	
	環境配慮	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B	
	広報活動	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B	
	苦情等対応	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B	
	苦情等対応	仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B	
③ 安定性	維持管理	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B	
	環境配慮	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
	広報活動	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
	苦情等対応	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	C	C	
	利用状況	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】					
所見 (成果・課題等)	経理事務	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
	予算執行	利用実績は、目標水準である。	B	B	
	経費縮減	利用アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B	
	収支状況	利用状況は、目標水準である。	B	B	
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B	
		(指定管理者自己評価)			
サービスの履行は、協定等を遵守した管理ができた。					
サービスの質は、ホームページの管理が出来なかった。利用実績は目標の87%の達成であった。今後は特に薬師の湯利用者の増加を図る。					
安定性は、経費を縮減することができた。					
(所管課評価)					
現在キャンプ場を指定管理施設に含めて運営しており、両施設とも利用者実績に届かなかったものの、キャンプ場は目標近似値であった。					
施設ホームページを作成して情報発信をすることで、特に薬師の湯に対する誘客宣伝に力を入れて欲しい。					
経費削減は目標どおり実施できている。今後も継続して実施して欲しい。					
前年度総合評価	B(良好)	総合評価	B(良好)		

※評価区分

評価基準 A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。

B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。

C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。

※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。

総括評価 A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上 総合評価 A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。

B(良好) = A、C 以外

B(良好) = A、C 以外

C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上

C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。